

## 事例 No.9 木曾町役場本庁舎（長野県木曾町）

【記事作成：2023年8月】

### 事業者

---

【事業者】 木曾町

【事業者分類】 市町村

### 導入施設

---

【導入施設分類】 役場庁舎

【導入施設名】 木曾町役場本庁舎

【所在地】 長野県木曾町

### 取組概要

---

【設備導入年度】 2020年度

【事業概要】

新庁舎建設に当たり再生可能エネルギーの活用を条件として、提案され導入した。約3万haの民有林の未利用材等の利用を推進している。

### バイオマス設備導入前の状況

---

【既存熱源】 LPGボイラー

【燃料消費量】 約40,000m<sup>3</sup>/年（LPG）

【燃料代】 1,133千円

### バイオマス導入設備

---

【導入設備】 チップボイラー

【導入台数】 1台

【設備仕様】

①ボイラーメーカー：ダレスサンドロ（日本サーモエナー）

②型番：CSA-300

③ボイラー出力：300kW

④着火方法：自動

【用途】 冷暖房(PS、FCU)

【蓄熱タンクまたは貯湯タンク】 6,000ℓ×1台

## バイオマス燃料

---

【種類】 乾燥チップ

【燃料水分】 水分 25%以下（先に整備した施設のボイラー性能に合わせている）

【燃料形状】 切削チップ

【燃料消費量】

計画値：215t/年

実績値：86t/年

【燃料調達方法】 町内に整備された木質バイオマス事業協同組合より調達

## バックアップ設備

---

【設備種類】 ガスボイラー

【設備仕様】 出力：349kW

## 設計時のポイント

---

保守等に係る営業所の場所

## バイオマス設備の運用（計画・実績）

---

【バイオマスボイラー運転計画】

① 1日の運転計画：24時間運転

② 季節変動：なし

【運転状況】

① 昼間みの運転（設備管理できる職員がいるときのみ運転）

② 季節変動あり（春秋の気候が適温の場合は運転しない）

## 費用

---

【インシャルコスト】

◆ 総事業費：55,220千円

◆ 事業費内訳

機械設備工事費：41,731千円

※ 機械設備工事費のうちボイラー本体価格：23,000千円

電気設備工事費：-

建築工事費：-

試運転・調整費：-

◆ 補助金：林業・木材産業成長産業化促進対策交付金（林野庁）

◆ 自己負担額：27,610千円

### 【ランニングコスト（運用状況）】

- ①木質燃料購入費：1,693 千円/年
- ②電気代：不明
- ③点検費：－（職員により対応）
- ④メンテナンス費：約 2,000 千円/年
- ⑤維持費：④に含む
- ⑥測定費：④に含む
- ⑦灰処理費：不明
- ⑧化石燃料購入費：なし

### 投資回収年数

---

－

### 運用後の実績

---

【バイオマス代替率（依存率）】 100%

※化石燃料使用量 0m<sup>3</sup>/年のため

### 導入効果

---

【CO<sub>2</sub> 排出削減効果】 213tCO<sub>2</sub>/年 ※見込み

【その他】 チップ工場での雇用の創出

### 今後の取り組み予定や課題

---

- ・チップの購入単価が高いため、工場の拡大と生産性の向上
- ・公共施設はもとより民間でのチップボイラーの導入を推進する

### 問合せ先

---

木曾町役場 総務課 管財係

TEL：0264-22-4280

### 本事業に関する Web サイト

---

なし



本庁舎外観



木質バイオマスボイラー棟



チップボイラー

---

※本記事は、アンケートおよびヒアリング調査をもとに日本木質バイオマスエネルギー協会が作成したものです  
※各項目の「-」は未回答のものです